

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔教育学部（第二類）〕

プログラムの名称	(和文) 中等教育科学（理科）副専攻プログラム
	(英文) Secondary School Science Education
<p>1. 概要</p> <p>本プログラムは、中等理科教育の原理・内容・方法について、その概要を体系的に学習できるよう構成されており、中等理科教育に関する基礎的・基本的な知識を習得し理解を深め、幅広い知見を得ることができる。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>1) 中等理科教育に関する基礎的・基本的な理論を学習し、理解を深める。 2) 中等理科教授内容に関連した基礎的・基本的な知識を習得し、理解を深める。</p>	
<p>3. 登録時期</p> <p>プログラム開始（選択）時期は2年次である。 プログラムの登録は、履修開始前の登録（事前登録）のみとする。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>既修得要件は特に定めない。 各「リテラシーⅡ」の履修にあたっては、それぞれの「リテラシーⅠ」の単位を修得していること。</p>	
<p>5. 受入上限数</p> <p>本プログラムの受入上限人数は約20名である。ただし教育学部生の履修を優先させ、授業により受講者数をおよそ50名以下に制限する場合がある。</p>	
<p>6. 授業科目</p> <p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
<p>7. 修了要件</p> <p>別紙履修表に示す科目のうち、16単位を修得すること。</p>	
<p>8. 責任体制</p> <p>本プログラムは、教育学研究科自然システム教育学講座の教員により遂行される。その遂行上の責任は、プログラム責任者（講座主任）にある。計画・実施・評価検討・対処は、本プログラム教員会が行う。</p>	
<p>9. 既修得単位等の認定単位数等</p> <p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 広島大学における既修得単位と合わせて8単位を上限とする。</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 他大学における既修得単位と合わせて8単位を上限とする。</p>	

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

中等教育科学(理科)副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	履修セメスター						要修得単位数	開設学部	備考
			3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門科目 専門必修科目 専門選択科目	比較科学教育論	②		○					12	教育学部	
	理科教育評価論	②				○					
	力とエネルギーのリテラシー I	②		○							主専攻プログラムでは2セメ
	物質と反応のリテラシー I	②		○							主専攻プログラムでは2セメ
	生物とその多様性のリテラシー I	②		○							主専攻プログラムでは2セメ
	宇宙と地球のリテラシー I	②		○							主専攻プログラムでは2セメ
	力とエネルギーのリテラシー II	2			○				4	教育学部	主専攻プログラムでは3セメ
	物質と反応のリテラシー II	2			○						主専攻プログラムでは3セメ
	生物とその多様性のリテラシー II	2			○						主専攻プログラムでは3セメ
	宇宙と地球のリテラシー II	2			○						主専攻プログラムでは3セメ
合計								16			

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。
2. 履修セメスターの○印は標準履修セメスター
3. 専門選択科目を履修するには、各分野の「リテラシー I」の単位を修得していることを条件とする。
4. 副専攻プログラム用の各「リテラシー」の科目は、主専攻プログラムと同時開講とする。